

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1248号	氏名	奥 竜太
論文審査担当者		主査教授	進藤 裕幸
		副査教授	相川 忠臣
		副査教授	永田 泉
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、内耳（特にアブミ骨）手術におけるレーザー照射による蝸牛形成術の有用性について動物を用いて検証しようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 モルモットを用いて、E-YAM レーザー用いて内耳手術をシミュレーションすべく群別に照射し、その影響を聴力機能評価法である EP, CM を用いて評価する研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、E-YAM レーザー照射は内耳機能に必ずしも好ましい影響を与えない結果が明らかとなった。 negative data ではあるが、今後の内耳機能を再建する手術の新しい展開に向けて貴重な新知見を提供するものであり、臨床面での有用な情報と位置づけられる。</p>			
<p>以上のように本論文は内耳機能障害に対する新しい手術法の開発に向けて、現状でのレーザー照射療法の限界を明らかにしたもので、今後の内耳治療の開発において貴重な情報を提供するものと考えられる。よって審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			